

飛一だより

家庭・地域と学校のかけはし

飛渡第一小学校だより

令和7年5月15日号



ホームページ公開中

居心地のよい学校に

校長 大平 智子

十日町市の各学校ではWebQUというアンケートを活用した「居心地のよい学級づくり」に取り組んでいます。そのねらいは「『居心地のよい学級』を基盤として児童一人一人を伸ばし、確かな学力の定着と不登校の未然防止に努める」としてしています。言い換えれば、一人一人が自分らしく過ごせる人間関係のもとで、安心して「居心地よく」学べる環境を整えるということです。

さて、飛渡第一小学校は極小規模校であり、多くの場面で「学級」ではなく「全校」での活動を行っています。特に、今年度は2・3年生と4・5年生の変則複式9名が、教科によって学年の組み合わせを変えながら1日を過ごしています。そんなこともあって飛一小では「居心地のよい『学校』づくり」と捉えてこの取り組みを進めていきます。

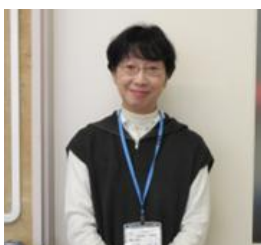
居心地のよい学校（学級）づくりには2つの柱があります。それは「ルール」と「リレーション」です。ここでの「リレーション」は「ふれあい」を意味し、「かかわり」のことです。つまり「ルール」と「リレーション」が十分にあれば「居心地がよい」のです。飛一小の児童は、礼儀正しく日常の学校生活において基本的なルールが当たり前のように守られています。また日ごろからとても仲が良く、一緒に遊んだり、助け合ったりできます。つまり十分「居心地がよい」環境のように見えます。でも、時には乱暴な言動からちょっとしたトラブルも起きたりします。人数が少なく、きょうだいのように近い関係だからこそ、「ルール」と「リレーション」の大切さを児童も職員も折に触れ確認し合うことが必要だと思うのです。私たち教職員は、9人の児童一人一人が大切にされ、安心して学ぶことができる環境づくりをこれからもすすめていきたいと思っています。

さて、話は飛躍しますが、飛渡地区はありがたいことに「居心地のよい」地域です。なぜなら一定の「ルール」（暗黙のルール、つまり常識的な考え）に基づいた環境の中で、豊かな「リレーション」があり、多くの学校の教育活動がその中で展開されているのです。児童は、大人たちが作り出す「居心地のよい」地域で学ぶことで、自然と「居心地のよい」関係づくりの「コツ」を身につけているのではないのでしょうか。「ふるさと環境学習」はその大切な学びの舞台だと感じています。

この春も飛一小のグラウンドには、後援会をはじめとした地域の皆様のおかげで「こいのぼり」が並びました。今年は雪と桜をバックに気持ちよさそうに空を泳ぐ「こいのぼり」というレアな景色を楽しむことができました。新緑の美しいブナ林を見ながらこいのぼりもきっと飛渡の居心地のよさを感じたことでしょう。



今年度新しく勤務になった教職員を紹介します



図工専科
非常勤講師

（月・木）



理科専科
非常勤講師

（火・木・金）

【不定期に勤務します】

ALT

相談員

相談員

スクールカウンセラー

◆学校の取組から◆



4月7日 始業式



4月7日 始業式
(学級活動)



4月17日 わら細工の会



4月26日 学習参観



4月26日 環境整備作業
(ワックスがけ)



4月26日 環境整備作業
(花壇づくり)



5月2日 防犯教室
(青色防犯パトロール)



4月25日 高校生と交流
(十日町総合高校訪問)



5月7日 花植え、畑作り
(十日町総合高校生と)

◆5月後半から6月初めの予定◆

16日(金)	眼科検診	23日(金)	ブナ林体験予備日
19日(月)	内科検診	27日(火)	水泳授業①
20日(火)	ブナ林体験	29日(木)	救急法講習会
21日(水)	十日町総合高校生と畑作り②	30日(金)	田植え
22日(水)	歯科検診	6月 5日(金)	スポーツフェスティバル

「全国へき地教育研究大会」プレ授業を行いました

今年11月6日(木)~7日(金)に全国の教員が長岡市に集まり、へき地教育の魅力と課題について学び合う研修会が行われます。飛一小は7つの分科会会場のうちの1つとなっています。

5月12日(月)本番に向けたプレ授業研修会を地域・保護者の方にもご参加いただき実施しました。次回は6月16日(月)に実施する予定です。



全校総合
「ふるさと飛渡 PR 大作戦」